

# 工業会活動

## 令和5年航空機生産額は前年比2,751億円の増額

経済産業省が2月15日に公表した生産動態統計（年計確報値）に基づき、令和5年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比2,751億円（20.9%）増の1兆5,926億円となった。平成25年から急増した生産額は、令和元年に1兆8,569億円となった後、令和2～3年は大きく下落したが、令和4年からの増勢傾向が継続していることが確認された。防需と民需の内訳は、防衛向けが前年比80億円増の4,595億円、民間向けが2,671億円増の1兆1,331億円となっている。

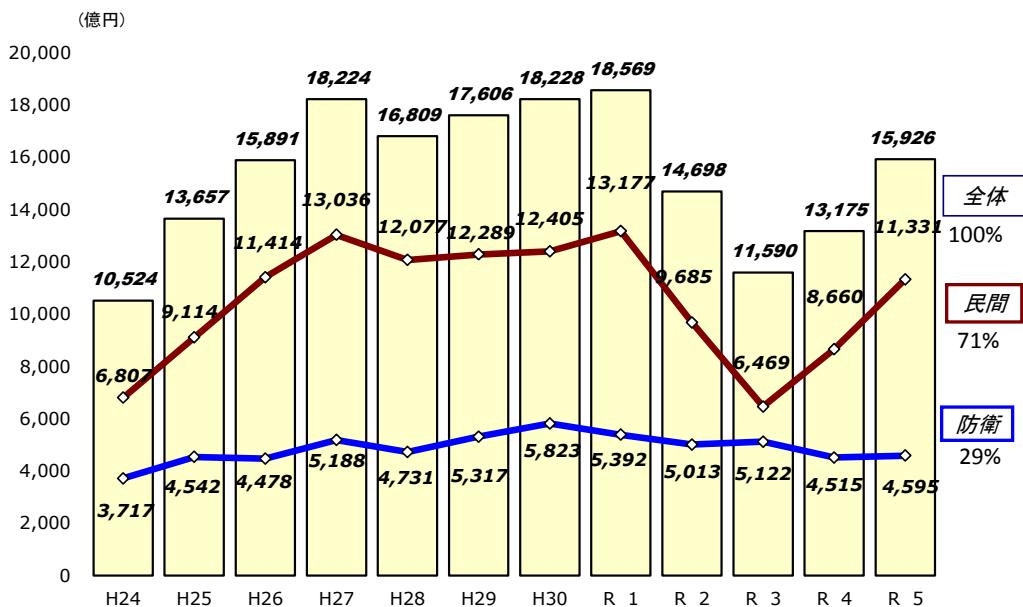
品目別にみると、機体の生産額は、機体本体が442億円減の1,318億円、機体部品がボーイング向け機体の生産回復等により昨年実績を1,361億円上回る5,384億円となったため、機体全体では前年より919億円（15.9%）増の6,702億円となった。エンジンの生産額は、エンジン本体が221億円の増の950億円、エンジン部品が海外向け部品の増等により昨年実績を1,403億円上回る7,001億円となり、エンジン全体では前年より1,624億円（25.7%）増の7,951億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛・民需向けともに増となり、その他の機器全体では前年より208億円（19.5%）増の1,273億円となった。

また、全体額の防需と民需の比率は29%対71%と前年から民需がさらに上回る状況となっている。平成24年以降、民間航空機でボーイング社等からの受注増大に伴い民需比率が増大（民需比率のピークは平成27年の72%）したのち、令和2年以降は新型コロナウイル

スの影響による航空機需要減少に伴い民需比率が減少していたが、航空機需要の回復とともに増大傾向が続く結果となった。

上記のように令和5年の我が国の航空機生産は、増大傾向が継続している。今後については、防衛向けでは令和4年12月に公表された防衛力整備計画で示された固定翼機や回転翼機等調達に伴う安定的生産や次期戦闘機の開発推進が期待される。民間向けでは、エンジン関連は単胴機を中心とした需要回復により部品生産が引き続き回復基調にある。一方で機体関連では、ボーイング社は民間機の年間納入機数が前年を上回り、ボーイング787の生産レートも月産5機に上昇するも、ボーイング737MAXを巡る対応に注力している状況にある。世界を取り巻く安全保障やサプライチェーン、環境対応などの様々な課題を踏まえると、令和6年以降の航空機生産の動向は増大傾向にあるものの、予断を許さないものと想定される。

## 航空機／国内生産額推移



## 令和4年と令和5年の区分別比較

(単位:億円)

区分		R4年 確定値(R5.6月)			R5年 確報年計値(R6.2月)			差(R5年 - R4年)			
		防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	
製 造	機 体	本体	893	56	949	×	×	533	×	×	△415
		部品	955	2,518	3,473	1,104	3,516	4,620	148	999	1,147
		小計	1,848	2,574	4,422	×	×	5,153	×	×	731
	エンジン	本体	94	1	94	×	×	112	×	×	18
		部品	405	5,139	5,544	446	6,504	6,950	42	1,364	1,406
		小計	498	5,140	5,639	×	×	7,063	×	×	1,424
	その他機器	640	249	889	777	320	1,096	137	70	207	
		合計	2,986	7,963	10,949	2,893	10,419	13,312	△93	2,455	2,363
	機 体		660	152	812	656	129	785	△4	△23	△27
修 理	機 体	本体	455	94	549	645	119	764	190	25	214
		部品	1,115	246	1,361	1,301	247	1,549	186	2	188
		小計	215	420	635	202	636	838	△13	216	203
	エンジン	本体	43	10	54	42	8	50	△1	△2	△3
		部品	258	431	689	244	644	888	△14	214	200
		小計	156	21	176	157	20	177	1	△0	1
	その他機器	1,529	697	2,226	1,702	912	2,614	173	215	388	
		合計	1,553	207	1,760	×	×	1,318	×	×	△442
全 体	機 体	本体	1,411	2,612	4,022	1,749	3,635	5,384	338	1,023	1,361
		部品	2,963	2,819	5,782	×	×	6,702	×	×	919
		小計	(51 %)	(49 %)	(100 %)	(-)	(-)	(-)			
	エンジン	本体	448	5,150	5,598	488	6,512	7,001	40	1,362	1,403
		部品	756	5,571	6,327	×	×	7,951	×	×	1,624
		小計	(12 %)	(88 %)	(100 %)	(-)	(-)	(-)			
	その他機器	795	270	1,065	933	340	1,273	138	70	208	
		合計	(75 %)	(25 %)	(100 %)	(73 %)	(27 %)	(100 %)	80	2,671	2,751

(注) 四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない

(出典:経済産業省 生産動態統計)

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部長 川原 亘弘〕